



家庭数

令和2年度 第6回 国立市立学校給食センター 運営審議会だより

運営審議会会長：向井美紀
記録担当：七小・八小
印刷担当：久保 麻理

第6回 国立市立学校給食センター運営審議会

日 時	令和2年2月19日(水) 午後2時～午後3時30分
場 所	国立市立学校第一給食センター会議室
出席委員	15名
欠席委員	3名
事務局	4名
議 題	(1) 令和元年度事業報告について (2) 学校給食費の収支状況について (3) 令和2年度事業計画について (4) その他

開会挨拶(会長)

資料の確認(事務局)
お便りに掲載。



議題 1 令和元年度事業報告について

事務局より資料 1 に基づき 11 月 21 日の第 4 回運営審議会から 2 月 19 日までの主な事業の説明。

11 月 27 日	第七小学校 1 年生約 40 名が給食センターに社会科見学のため来訪。当日は窓越しにて調理場内を見学、給食センターの成り立ち、献立を作成する過程、給食センター職員の一日の業務内容等の説明があり、質疑応答の時間を設けた。 外部機関による検査の結果「乱切りさつま芋」（千葉県産）に微量の放射性物質が検出された。学校給食食材として使用を中止。保護者様宛て文書を送付。詳細は別項にて説明。
11 月 28 日	当運営審議会で審議した給食費の改定について、答申書を運営審議会会長より教育長へ提出。
11 月 29 日	あきる野市で多摩地区学校給食共同調理場連絡協議会献立研究部会が開催。国立市から 2 名の栄養士が出席した。
12 月 6 日	「学校給食食材等の放射性物質の測定検査および産地について（お知らせ）」全校配布。
12 月 12 日	第三中学校の給食委員の生徒を対象に、「一般社団法人日本乳業協会」の管理栄養士を講師として招聘し、牛乳定着促進のためのミルク教室を開催。
12 月 24 日	教育委員会定例会開催、運営審議会からの答申書を受けて、来年度よりの給食費改定が正式に議決。
令和 2 年 1 月 29 日	多摩地区学校給食共同調理場連絡協議会献立研究部会が立川市で開催され、国立市から 4 名の栄養士が出席
2 月 18 日	一小保護者の著名なイタリアンシェフとのコラボが実現。小中学校全校児童・生徒にイタリアン給食の提供。マスコミ数社からも取材を受ける。

◆ 給食センターでの放射性物質の測定結果報告

事務局より資料 1-2、1-3、1-4「給食センターでの放射性物質の測定結果報告」に基づき説明。

11 月から 1 月までの給食実施日の、飲用牛乳、飲用牛乳を除いた小・中学校の提供給食を測定し、結果はいずれも検出限界値にて不検出。

議題 2 学校給食費 収支状況について

事務局より資料 2 に基づき平成 31 年 4 月 1 日から令和元年 12 月 31 日までの学校給食費収支状況の説明。

監査報告書の確認 監査委員（一中・三中）からの監査報告

2 月 12 日水曜日、午前 10 時ごろから、第一給食センター会議室にて監査が行われ、監査の結果は平成 31 年 4 月 1 日から令和元年 12 月 31 日までの学校給食費収支状況について、帳簿及び預金通帳等を照合した結果、適正に処理されていることが認められた。

議題 3 令和 2 年度 事業計画について

1. 食の安全安心の確保

- 食材の調達 従来通り、食品衛生法の諸規制に適合した基本的に国内産を使用する。食品添加物・遺伝子組換え、農薬などが不使用とされる食材を用いたうえで、地場野菜の取り入れを推進していく。
- 放射能への対応 引き続き提供給食の給食センターでの日次測定と検査機関での測定実施。調理における丁寧な洗浄を励行し、適切な栄養摂取をはじめ、給食ならではの献立に配慮する。
- 事故の防止 食物アレルギーや食中毒による事故を防ぐため保護者に対しアレルギー物質の資料提供を行い、衛生管理の徹底を図る。

2. 食育の推進

食に関する理解の促進を目的として献立メモの継続実施、令和 2 年度も出前授業実施。

3. 円滑な運営管理の実施

- 給食費の徴収 引き続き徹底する。給食費会計では収支状況を見ながら適正な収支運営に努める。
- 各種委員会 円滑な運営に努め、衛生委員会活動を中心に安全管理の徹底。
- 施設整備 維持・改善では主なものとして第 2 センターの回転釜修繕が挙げられる。

4. 新給食センター施設整備事業

- 整備事業 教育委員会の施設担当部署の所管のため資料に記載はないが「新学校給食センター整備事業方針（案）」を踏まえ事業方針を決定し、事業者選定プロセス等を実施する。



【主な意見等】

- 質問：(3)円滑な運営管理の実施とあるが、給食費徴収で小学校から中学卒業までずっと給食費を納付しない方はいるか？
- 回答：現在、詳細な数字をお伝えすることはできないが、人数は少ないと認識している。月・期別で数字を見るので期数では10年間分溜まっているという見方になるが人数的にはごく少数である。
- 質問：新給食センター施設整備事業、学校給食センターの建て替えについての質問。何月にどういふことを行うのかなど、現時点でわかっている範囲で教えてほしい。
- 回答：PFI手法で進めると仮定した場合はあるが、約1年かけて令和2年度の事業者選定作業。要求水準書はじめその他いろいろな仕様書も作成し、令和2年に内容を決定。令和5年度の2学期に建設も全て終わって、供用開始という予定ではあるが議会の決定による。
- 質問：(続) 議会で決まらないから詳細は伝えられないが、議会で決まればその流れということか。
- 回答：事業方針は教育委員会定例会で決定するので、教育委員会の定例会にて決定した事項であれば、確定である。しかし事業には必ず予算が伴うものであり、予算は国立市議会が決定するため市議会の決定も関与してくる。
- 質問：(続) 所管が違っても新給食センターに関する事項は、事業方針として記載すべきではないか。
- 回答：同様の書類を教育委員会定例会にも事業計画として提出する予定はある。令和2年度には事業者の決定をしていくという内容も記載されているが、新学校給食センターの事業についてはあくまでも教育委員会の教育総務課の教育施設担当が所管であるため、今回は給食センターの所管部分のみ記載した形となっている。第2回 教育委員会定例会が2月22日(月)を予定しているが、事業計画の一番下に、事業方針を決定した後に事業者を決定するという内容は記載済み。
- 質問：(続) 次回の運営審議会開催は6月となるが、転勤等でいなくなる人もいるのではないか。本年度までの審議内容を記載しないと新たな委員にうまく引き継げないのではと危惧している。
- 回答：引き継ぎ等についてはかねてからの課題であるため、検討させていただく。
- 質問：食物アレルギーへの対応として事象発生の際の研修等は学校で行われているのか。行われているとすれば内容を具体的に教えてほしい。
- 回答：(向井会長) 毎年とても早い時期に教職員研修の実施がある。マニュアルに基づき研修。対応の研修と、4月の早い時期に救急法講習会にてエピペンを打つ実習を行っている。
- 質問：2の食育の推進の(1)部分、献立メモを読むのに苦労している児童がいると聞いているので振り仮名等を振っていただけると助かるのだが。
- 回答：(栄養士) 昔は手書きだったが、現在はパソコンで作成しており、すべてに振り仮名がついているため心配はないと思われる。児童の興味や関心を引くようイラスト等を挿入して各クラスに1部配布。放送する学校や各クラスで発表など、学校ごとに活用方法は異なっている。
- 修正：(1)の最後に「農薬等の細菌検査」とあるが農薬は細菌ではないため表現の修正をお願いする。
対応：修正する。

議題4 その他 府中市給食センター視察の感想

事務局より審議委員に対し、給食事業全般、調理委託部分についての感想や意見がほしいとの要望があった。

- 国立市のセンターを先に拝見して驚いた。職員の皆さんが大変な環境で一生懸命やってくださっているんだなとすごく感謝の気持ちを持った反面、府中市のセンターを視察して現在の国立市の施設にはがっかりしてしまった。府中市は考えて工夫されていて、給食もすごく美味しかった。もちろん国立市の子供たちもおいしくいただいているが、調理機器が古いためムラが出て炊飯に苦労しているという件では、もうちょっと改善できたらいいなと思う。
- 国立市の給食センターを拝見し、給食に関する不満(今日のご飯はちょっと硬かったとか、炊きにムラがあった)も時々聞いて不思議に思っていたが、国立市の施設の現状を見てやむを得ないなど。職員の皆さんは最善を尽くして作ってくださっているんだなと実感

- した。新センターでは働く側も気持ちよく、不満なくお仕事できる環境であってほしい。
- 今回のイタリアンのメニューのような工夫をどんどん続けていただき、子供たちがさらに楽しく給食が食べられる環境をつくっていただきたいと思う。
- 3点ある。1つ目は府中市給食センターでは調理と配膳は同じ業者さんで担当していてコミュニケーションがとりやすいという話がとても印象に残っている。別の業者さんだと大変だなと。逆に言うと、業者が同じところはメリットが大きいように感じた。
- 2点目、国立市の給食センターでは調理中、暑くて半袖の方が多。府中は空調も断然しっかりしており、このように良い環境であれば国立市でも働きたい人が増えるし、労働環境としていいと思った。



👉 最後、国立市の新給食センターにはよそから視察に来るくらいの特徴を持ったセンターになればいいなと強く思う。現状では見学したくないだろうと思う。

● 国立市のセンターを見学した後、府中市のセンターを視察することにすごく意義があったと思う。子供は中学に入ってから給食をすごくおいしいと言っている。現在の国立市の大変な環境で、よくやってくださって感謝している。いまの古い施設で郷土料理だとか治部煮とか、普通お家で作らないようなメニューなんかも、今働いている方の工夫してくださる“気持ち”がありがたいとすごく感じたところである。府中市は資金も潤沢でアトラクションのようで楽しい。給食が身近に感じられるような建物で、国立市の給食センターが新しくなった際は、同じくよそから見学に来ていただける施設になればと感じた。

● 国立市の給食センターの方たちに一番感謝の気持ちが湧いてきた。センター内の動線がいかにか重要なのか、空調、細かな部分まで視察してきたが、給食審議委員になって初めに視察していたら、もっと違う議論ができたのではないかと感じた。新給食センター建設に反対や要望、強い意見のある方たちも視察していただけたら、ご理解いただけると思った。

● 好き嫌が多い子供だが、とにかく給食だけは全て食べてと伝えている。老朽化した施設で給食が作られ、子供が食べてくれることだけでもとても感謝している。新センターに反対している方たちもいるが、アレルギーの子たちも増えているので、新しい給食センターが一日も早く建設され、充実した環境で国立市オリジナルの給食が提供されればと思う。

● 経年劣化が著しい国立市の給食センターで 50 年、食中毒も出さずに子供たちを育ててくださり職員の皆様には感謝の気持ちでいっぱいである。

府中市では食材が安全に調理されセンターから出ていき、安全なまま児童の口にちゃんと入るまでが一本化されているのは非常なメリットである。PFI では調理部門が民間の一番得意な分野のため切り離すとメリットがない、今後も議論の余地がある。アレルギー対応では職員の方の創意工夫で除去食から代替食を目指していただけたら。

● 新センターでは子供たちが楽しく見学できるように府中の良い部分を取り入れてほしい。調理実習室は食育にもつながると思う、イベント等でたくさん活用できる施設になればいいなと思う。

● 国立市は今後もオンリーワンの給食センターを目指してほしい。もうすぐ卒業の子供は「給食を食べられ

るのは一生のうちにあと何食かな」という。卒業前のリクエスト給食、2学期の合唱コンクール前のト音記号のパンなど、学校の行事に合わせてくださる愛情がありがたい、ぜひ続けていただけたら嬉しい。

● 府中市は素晴らしい給食センターだとは思いますが、ご飯がすごくおいしい、真似できたらという希望がある。しかし現在の場所は市役所も近く、通るたびにこのセンターでご飯がつけられているのが見えるのは大きなメリットだと思う。私は新センターを心待ちにする気持ちはあるが、なくなる寂しさもある。

よそはよそ、うちはうちのよさを今後も継承して、国立市の子供たちにおいしい給食を届けてほしい。

● 初めて給食審議会の委員になったが、新給食センターの件は一般の主婦として、保護者として書面で見ていただけだった。審議会中ドライシステムとか、PFI は漠然としていたが府中の給食センターを見て、このようなことだとわかった。一般の保護者の方にも、老朽化した国立市の施設と新しい給食センターの違いを実際に見てもらえれば、文章だけではわからないことも見学会などで伝わると思った。今の給食でうちの子供は満足しているが、国立オリジナルで職員の皆さんが快く働ける環境に改善してほしい。

● 給食センター移転が寂しいとお気持ちは、五小では理解できる。今日は和風かなとか、唐揚げのような匂いがするとか、子供たちは校庭での体育や観察、窓をあけていると校舎の中に入ってくるので、とても身近に感じている。ほんとうに昭和の、私が子供時代の給食センターの施設で、調理員さんたちが苦勞しながら調理されているのを見てびっくりしていた。それでも、事故等もなく今まで来られたというのは、工夫と努力だと思う。府中を見て、ほんとうに給食がおいしかったのは勿論、食物アレルギーに対して、一人一人のバッグで対応するのはすごいなと。

何校か市内を回ってきている中で、食物アレルギーを持っているお子さんの保護者の方はとてもご苦勞されていて、毎回お弁当を持たせてくださる方もいらっしゃるれば、食べられるものをチョイスして、代替食を持たせてという保護者の方もいらっしゃる。オンリーワンの給食センターを目指してほしいというところで一人一人に応じたというところでは、今後目指していくところだと思う。スムーズに新給食センターへ移行ができると、子供たちにとってはとても大きなメリットがあると思う。

<一部抜粋して記載>

閉会挨拶(向井会長)

第 6 回 給食センター運営審議会終了の挨拶。

次回 第 7 回(最終) 運営審議会は令和 2 年6月25日(木)、午後 2 時から開催予定。

- | | |
|--------|--|
| [資料 1] | 1-1 令和元年度事業報告
1-2・3・4 学校給食食材等の放射性物質の測定検査および産地について |
| [資料 2] | 令和元年度学校給食費収支状況 |
| [資料 3] | 令和 2 年度事業計画 |
| [参考資料] | 2/18 提供 小中学校給食「イタリアン」の記事(朝日新聞・読売新聞) |

*資料の詳しい内容については市のホームページをご覧ください。